

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (9) 全国農業協同組合連合会福島県本部と連携した畜産法人へのサポート
農林中央金庫 福島支店 (福島県)

新規	継続
○	(平成 年 月)

1 動機(経緯)	畜産業は、事業経営にあたり多大な投資資金(設備資金・運転資金)が必要な業態です。技術力があり、規模拡大を計画していても、近年の素牛相場の高止まり等により、事業展望に不安を抱える生産者が多く存在していました。
2 概要	全国農業協同組合連合会福島県本部(以下、「全農」という。)と取引のある県内の肉牛・養豚を営む法人、あるいは法人成りニーズのある大規模個人に対し、サポートを強化するため、農林中央金庫・全農で連携したサポートを開始しました。 同行訪問で判明した生産者のさまざまな構想やニーズに対して、それらの具体化・実現に向けて、以下のような全農の取組みに対して金融面から後方支援しました。 <ol style="list-style-type: none"> 1 技術力が高いが、素牛相場の高止まりによる購入資金不足が悩みのタネとなっている法人に、増頭資金の対応。 2 全農福島ブランド「麓山高原豚」再編の柱となる大規模農家に対し、農場新設・規模拡大を見据えて、各関係機関と連携し法人化をサポート。 3 原発事故により消失した「いいたて牛」ブランドの復活を担う乳肉一貫経営体に対し、行政・全農・JAとともに事業化をサポート。
3 成果(効果)	生産者の資金調達・生産管理面のサポートニーズに対し、農林中央金庫・全農が連携して対応することで、規模拡大などの構想が実現し、生産者の所得向上につながりました。
4 今後の予定	今後とも、農林中央金庫は全農と連携し、生産者のさまざまな構想やニーズに対して支援します。

【連携のスキーム図】

